

民主代表選と自民総裁選

「地方の活力を争点に」

県経済同友会の委員会 緊急アピール



民主党代表選、自民党総裁選へ向けて緊急アピールを發表する
中村正委員長(中)ら＝岐阜市長良、岐阜グランドホテル

県経済同友会・地方から国の政策を考える委員会が6日、民主党代表選、自民党総裁選に向けて緊急アピールを發表した。代表選、総裁選では中小企業とともに戦う経済成長策、地方の活力を引き出す政策を、特に重要な争点として議論してほしいと要望した。

アピールでは、現在の政党政治は選挙で勝つことに必要以上に時間を費やしていると指摘。代表選、総裁選を「わが国の政党政治をリセットする場」と位置付け、グローバル経済の中で戦う中小企業の支援策やビジョンを争点にするよう求めた。

同委員会は県内企業の経営者24人で構成する。岐阜市内のホテルで中村正委員長(秋田屋本店社長)、松田英文副委員長(りゅうでん社長)、藤吉友子副委員長(藤吉厚保険事務所社長)が会見。中村氏は「中小企業の経営者は政治に失望している。現在の政党政治に

最も欠けているのは、未来を見せる力」と批判した。

緊急アピールは今月中旬、民主党県連、自民党県連に提出する。